

# 和室を洋室に変身 快適な暮らしを!

和室は畳、ふすま、障子など、お手入れが大変

和室の特徴である畳やふすま、障子、土壁は痛みやすく、汚れやすい素材でできており、定期的なお手入れが必要です。洋室であれば、フローリング床を掃除機をかけるだけでタニヤやホコリを取り除けることができ、壁や建具も比較的キズが付きにくいので安心です。

ご高齢の方や介護の場では洋室がおすすめです

和室では畳に布団を敷きますが、足腰が弱ったご高齢の方や、被介護者にとっては、布団での寝起きは大きな負担となります。ベッドですと高さがある分、布団よりスムーズに動作ができます。また、車椅子が必要になった場合でも床に傷をつける心配がありません。さらに、バリアフリー化に繋げやすいことも、和室から洋室へのリフォームのきっかけとなっています。

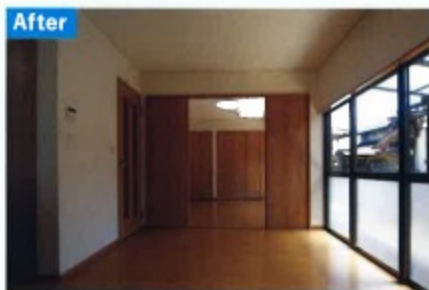
## 和室6畳+床の間を 洋室7.5畳にリフォーム

工事内容：床、天井、壁のリフォーム、キッチンとの間仕切り取り壊し、ふすま4枚を木製4枚引き違いに交換

**1,122,000円**

内訳 材料費 477,000円  
工事費 645,000円

※費用は参考金額です。詳細はお見積もり致します。



▲木目調の建具で印象がガラッと変わった空間。



▲築40年の昔ながらの和室。



素足にも心地よい  
無垢フローリング

和室を洋室にリフォームされる時に、床を天然無垢のフローリング材にしませんか? 天然の一枚板でつくられたフローリングは、天然木ならではの風合いや触り心地が魅力です。天然の木材を切り出してつくられる無垢フローリング材は、同じ種類の樹木でも、色合いや木目がひとつひとつ異なるという特徴があります。木の節の出方が違うことなども天然木ならではの個性であり、美しさです。

調湿作用があるから  
いつでも快適な空間に

無垢材は、湿度が高いときには湿気を吸収し、空気が乾燥しているときに水分を放出します。この働きを調湿作用といえます。この働きを調湿作用といえます。そのため、ジメジメした夏場でも肌触りがさらりとしています。素足で歩いたり、寝転んだりしたときに心地よいのが無垢材の魅力です。



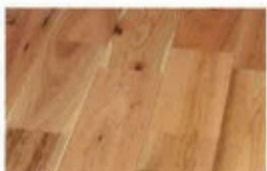
無垢フローリングは美しい木目とやさしい足触りが特徴です。



同梱製材  
**アカシア**  
(オイルクリア塗装)



同梱製材  
**オーク**  
(アンティーク色塗装ホワイトオイル)



同梱製材  
**クルミ**  
(スタンダードグレードオイルクリア塗装)



チャンネルオリジナル  
**屋久島地杉**  
(フローリング(節無)無塗装)



チャンネルオリジナル  
**バーチ(カバ)**  
(ラスティックユニオイル塗装 裏面UV塗装)

※無垢フローリングはオプション仕様となります。

# 対面式キッチンにして 家族のコミュニケーションを とりやすく!

対面式キッチンの中でも人気の高い「ペニンシュラ型」をご存知でしょうか? 今回はペニンシュラキッチンが支持される特徴をご紹介します。

アイランド型よりも  
設置スペースを選ばない

アイランド型キッチンは、両サイドに通路となる空間が必要なので、スペース的に設置できない場合が多くあります。ペニンシュラ型は、左右どちらかを壁付けにできるため、LDKの幅が限られている場合でも設置しやすいです。

家族との対話がしやすい

対面式キッチンの最大の特徴は、リビングやダイニングと対面になるため、家族とのコミュニケーションを取りやすいことです。片付けをしながらお子さんの様子を見守ったり、会話しながら料理を楽しんだり、にぎやかなキッチンになりやすいレイアウトです。

## クリナップ グランドシリーズ

工事内容：L型からペニンシュラ型に変更。床フローリング張替、壁リフォーム

**2,306,000円**

内訳 材料費 1,191,000円  
工事費 1,115,000円

※費用は参考金額です。詳細はお見積もり致します。



▲ペニンシュラ型キッチンに変更し、リビングダイニングからのアクセスが簡単で、明るく開放的なキッチンに生まれ変わった。



▲以前は壁付けのL型システムキッチンとカップボードで、半分孤立型のキッチンだった。